



2020年12月期 第3四半期
決算説明資料

2020年11月10日

株式会社ファンコミュニケーションズ

目次

2020年12月期第3四半期 業績ハイライト	P3
各種経営指標(四半期ベース)	P8
主要サービス区分別概要	P14
・CPAソリューション事業		
・ADコミュニケーション事業		
業績修正の理由について	P28
連結グループ事業	P29
株式について	P32
参考資料	P34

2020年12月期第3四半期 業績ハイライト

- 前年四半期比では売上高は83.9%、経常利益は59.1%となり、引き続き厳しい数字となった。
- 直前四半期比でも、売上高は96.4%、経常利益は59.8%と減収減益だった。
- コロナ禍の影響が、引き続き重くのしかかった。

連結損益計算書(1月～9月)

業績ハイライト

(単位:千円)	2020年12月期 第3四半期	2019年12月期 第3四半期	対前年同期 増減率	当期構成比
売上高	22,808,350	26,581,486	△14.2%	100%
営業利益	2,327,721	2,972,730	△21.7%	10.2%
経常利益	2,463,305	3,001,402	△17.9%	10.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,643,655	2,022,300	△18.7%	7.2%
売上高経常利益率	10.8%	11.3%	△0.5pt	-
1株当たり四半期純利益	22.19円	26.69円	△16.9%	-
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	-	-	-	-

※潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

連結貸借対照表

業績ハイライト

(単位:千円)	2019年度末	2020年度 第3四半期
資産の部		
流動資産	23,970,606	23,405,258
現金及び預金	18,610,946	18,503,406
売掛金	3,728,003	3,527,597
有価証券	1,019,563	988,964
その他	622,935	399,843
貸倒引当金	△10,842	△14,552
固定資産	3,154,585	2,312,953
有形固定資産	200,133	120,638
無形固定資産	640,722	598,867
投資その他の資産	2,313,729	1,593,447
資産合計	27,125,192	25,718,212
負債及び純資産の部		
流動負債	5,917,643	5,406,627
買掛金	4,207,343	4,317,841
未払法人税等	599,908	208,855
その他流動負債	1,110,390	879,928
固定負債	154,237	149,837
負債合計	6,071,881	5,556,465
純資産合計	21,053,310	20,161,747
負債純資産合計	27,125,192	25,718,212

主な内訳は投資有価証券1,274,456千円

親会社株主に帰属する四半期純利益を1,643,655千円計上した一方、配当金の支払いにより1,439,423千円減少、自己株式の取得により999,972千円減少したことにあります。

連結業績予想

業績ハイライト

(単位:百万円)	2020年 通期予想 (対前年同期増減率)	2020年 第3四半期実績	進捗率 (通期予想比)
売上高	29,200 (-14.6)	22,808	78.1%
営業利益	2,700 (-27.9)	2,327	86.2%
経常利益	2,800 (-26.0)	2,463	88.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,900 (-23.6)	1,643	86.5%

※2020年11月9日付で通期連結業績予想数値を修正致しました。

【配当予想】

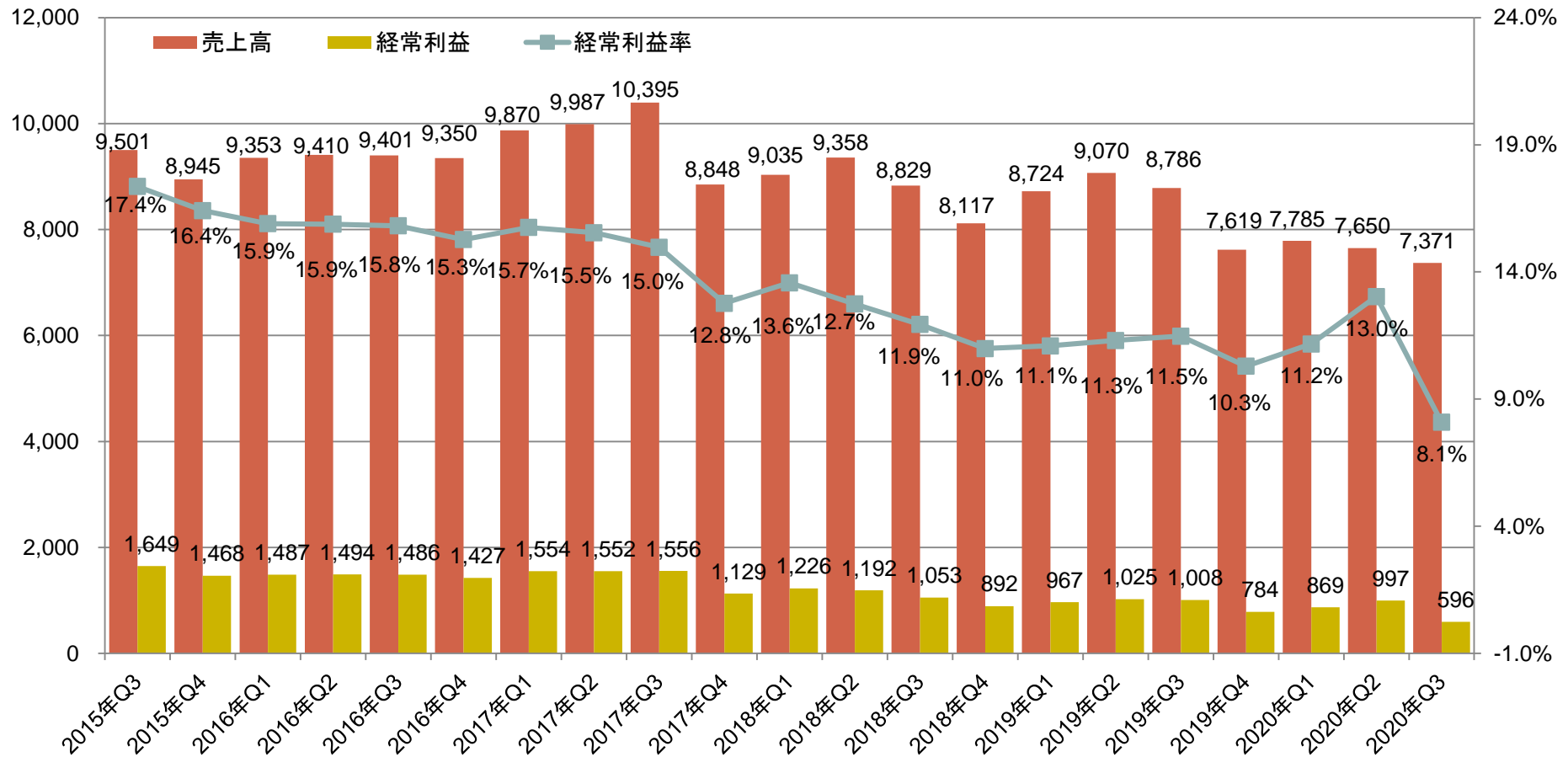
	2020年12月期 予想	2019年12月期 実績
1株当たり期末配当金	19円	19円

各種経営指標
(四半期ベース)

売上高、経常利益、経常利益率の推移 (連結・四半期ベース)

各種経営指標

単位:百万円

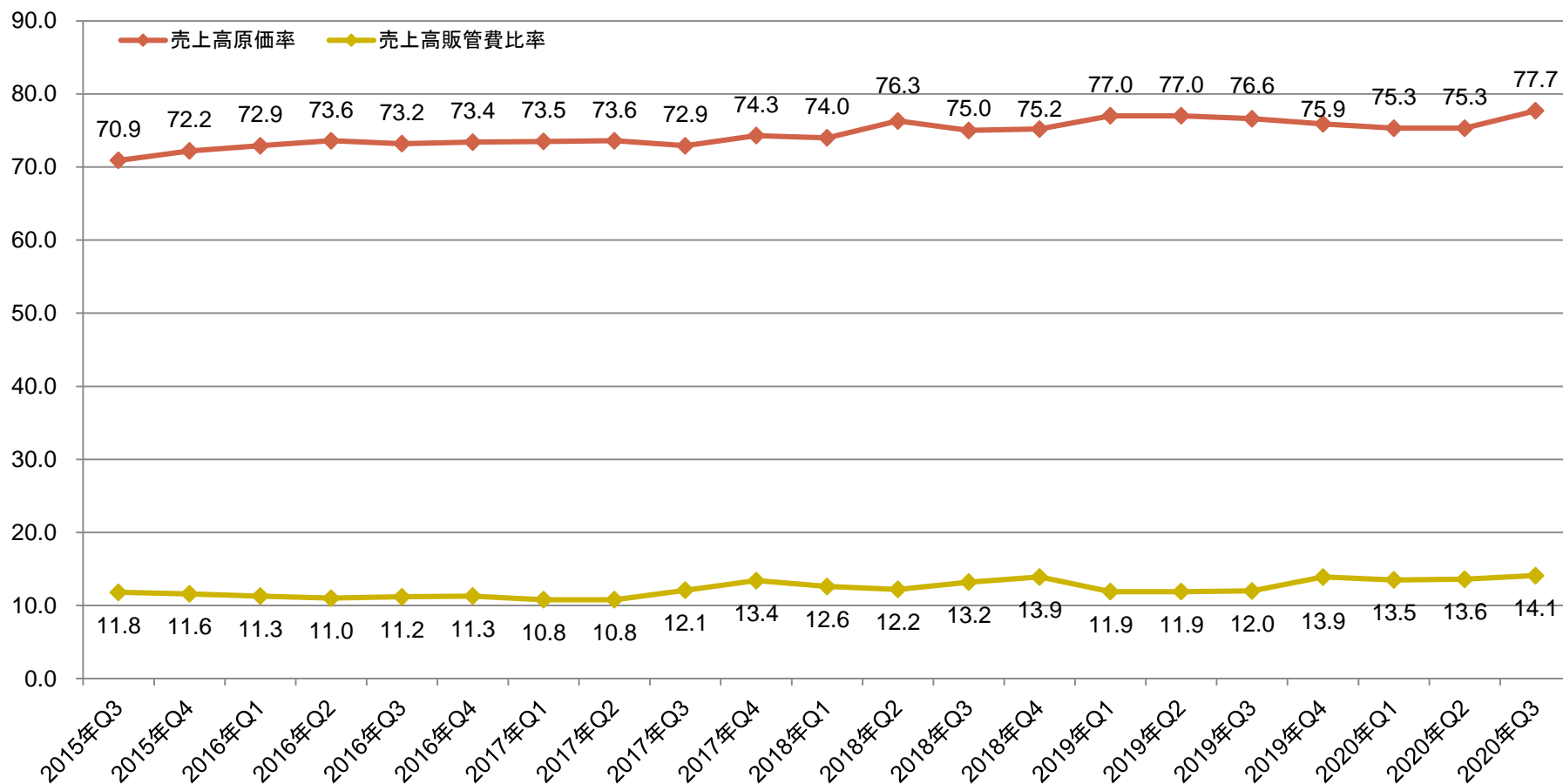


売上高経常利益率は8.1%となり、直前四半期より4.9ポイント減と急激に悪化した。

原価率、販管費比率の推移

(連結・四半期ベース)

各種経営指標



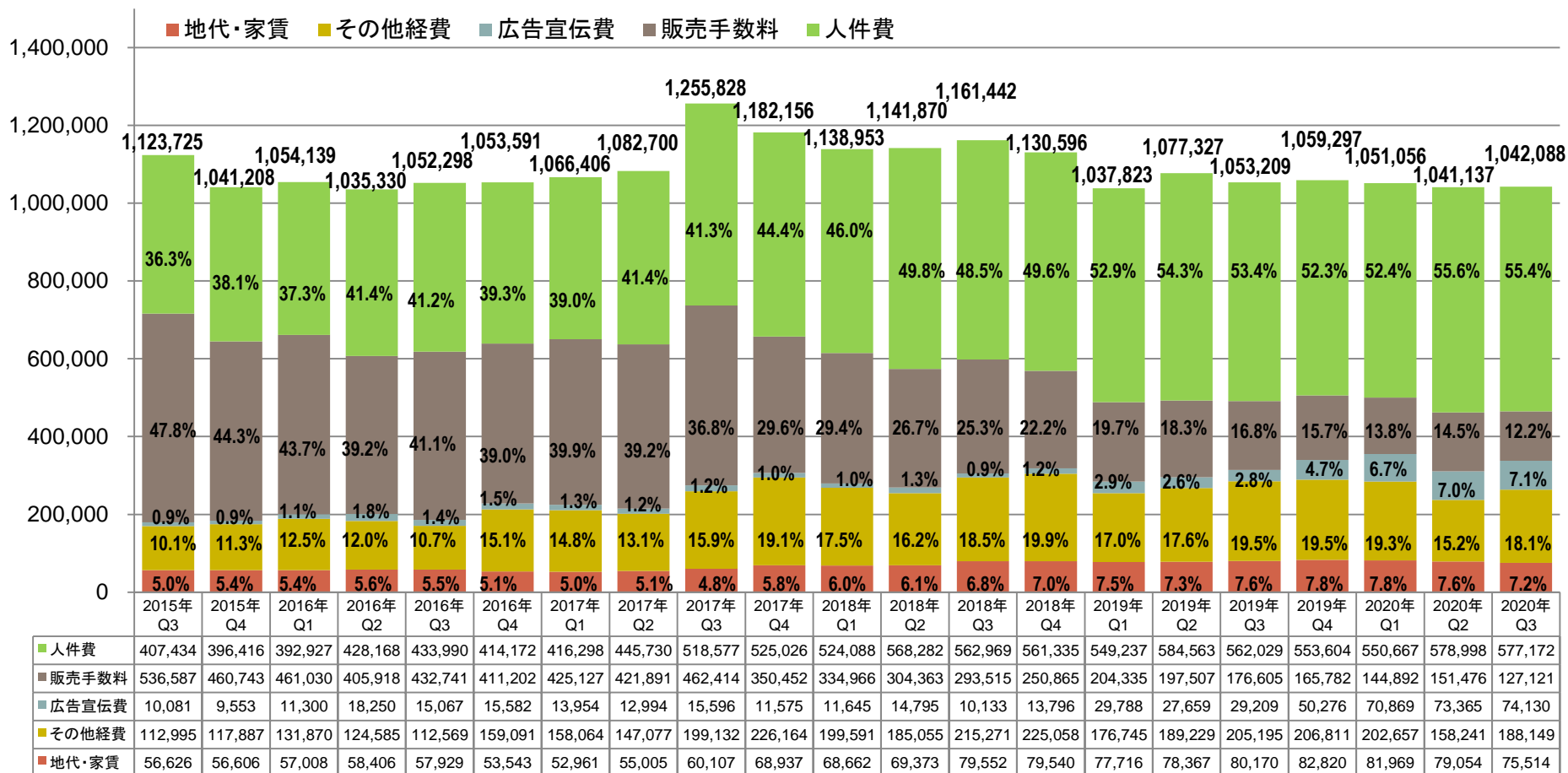
直前四半期より原価率は2.4ポイント増加、販管費比率は0.5ポイント増加した。

販管費

(連結・四半期ベース)

各種経営指標

単位:千円



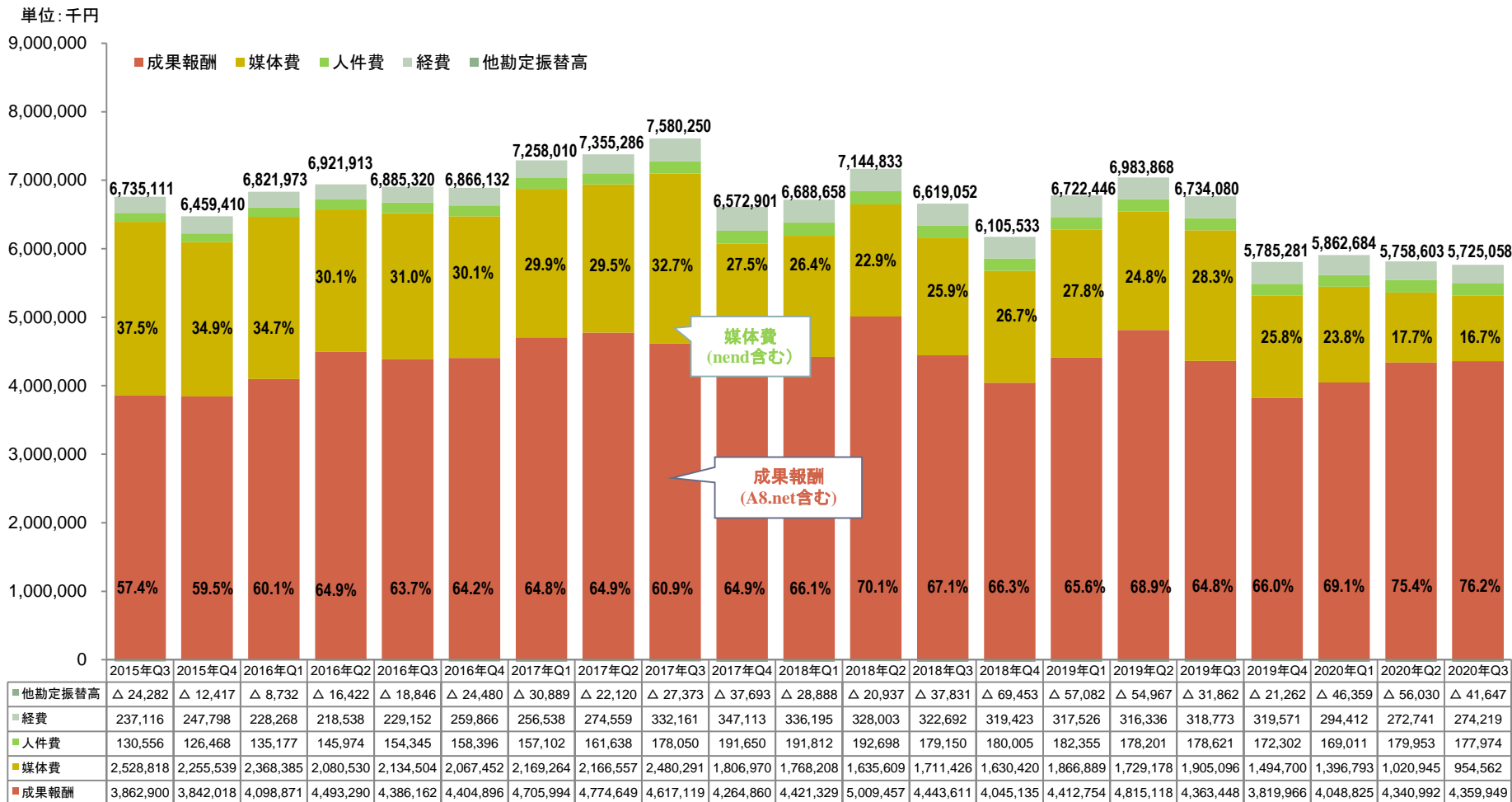
※その他経費は減価償却費、業務委託費、支払手数料、販売促進費など

その他経費の増加要因は、減価償却費がオフィスの改築に伴う償却期間の短縮をしたことなどにより27M増加したため。

売上原価

(連結・四半期ベース)

各種経営指標



※成果報酬の主な内訳はA8.net、seedApp、媒体費の主な内訳はnend

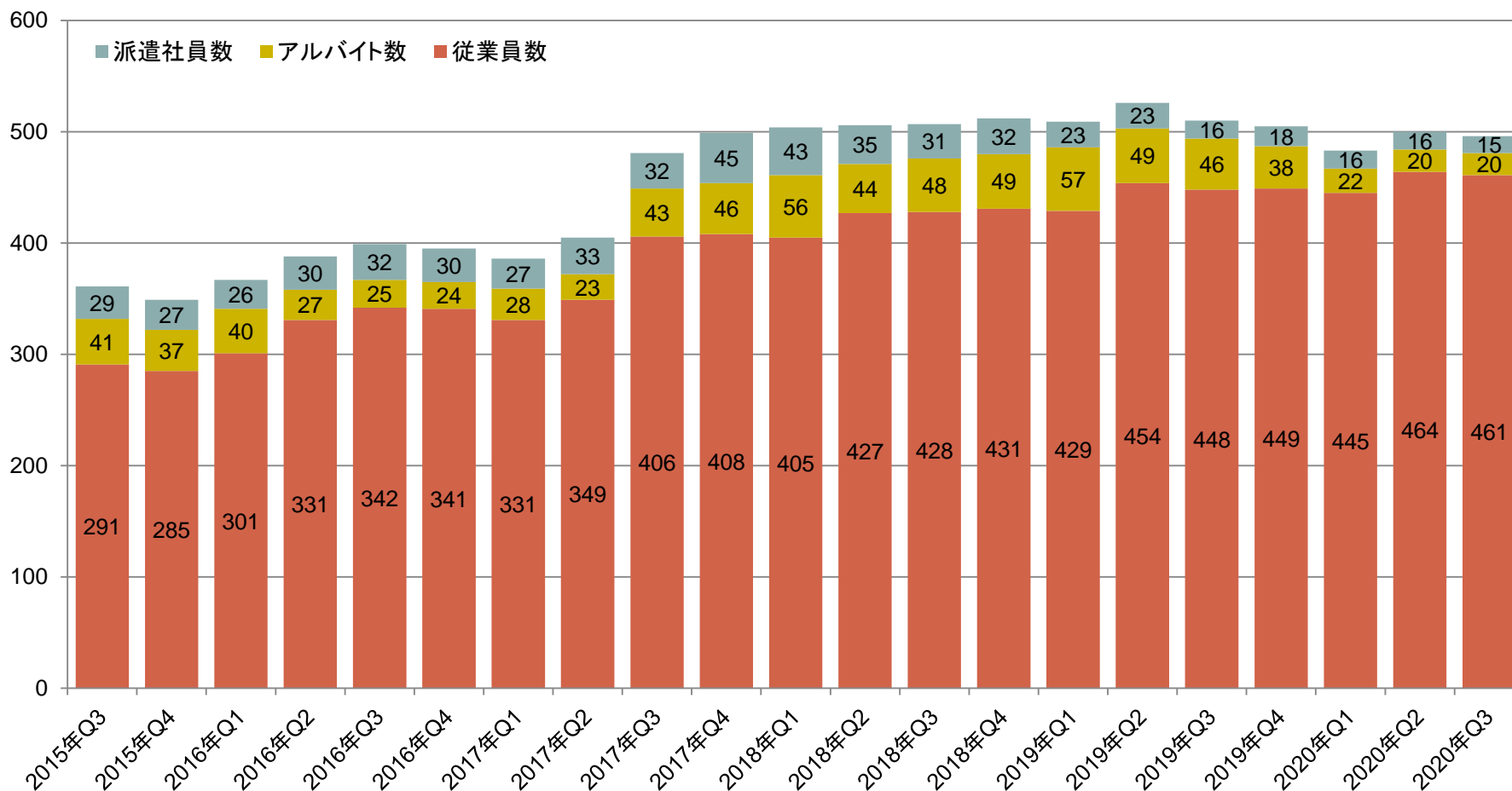
※経費の内訳はデータセンター費用などのインフラ費用

原価率を押し上げている大きな要因は2つ。1つめはA8.netの季節性の強い広告主の売上比率が高まり、仕入れが高止まりしたこと。2つめはnendの売上が激減しているが、それに応じたコストの削減ができていないこと。

従業員数の推移

(連結・四半期ベース)

各種経営指標



グループ全体の総スタッフ数は496人。前年同期比で14名減、直前四半期からは4名減。

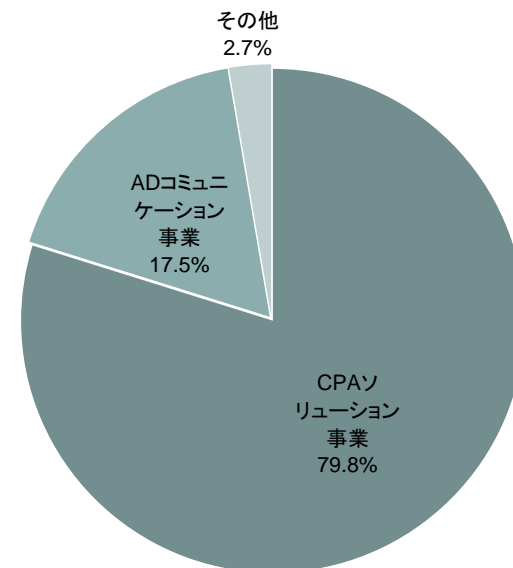
主要サービス区分別概要

報告セグメント別の売上高の内訳

(連結・四半期ベース)

サービス区分別概要

単位:千円	2020年 第3四半期(7~9月)	2019年 第3四半期(7~9月)	対前年同期 増減率
CPAソリューション事業	5,884,459	6,024,877	△2.3%
ADコミュニケーション事業	1,289,240	2,578,017	△50.0%
その他	198,116	183,478	8.0%
売上高	7,371,816	8,786,373	△16.1%



<CPAソリューション事業の主要サービス>

A8.net、seedApp

<ADコミュニケーション事業の主要サービス>

nend、ファンコミュニケーションズ・グローバル

<その他>

シーサー

※売上高は連結間取引相殺後の数値です。

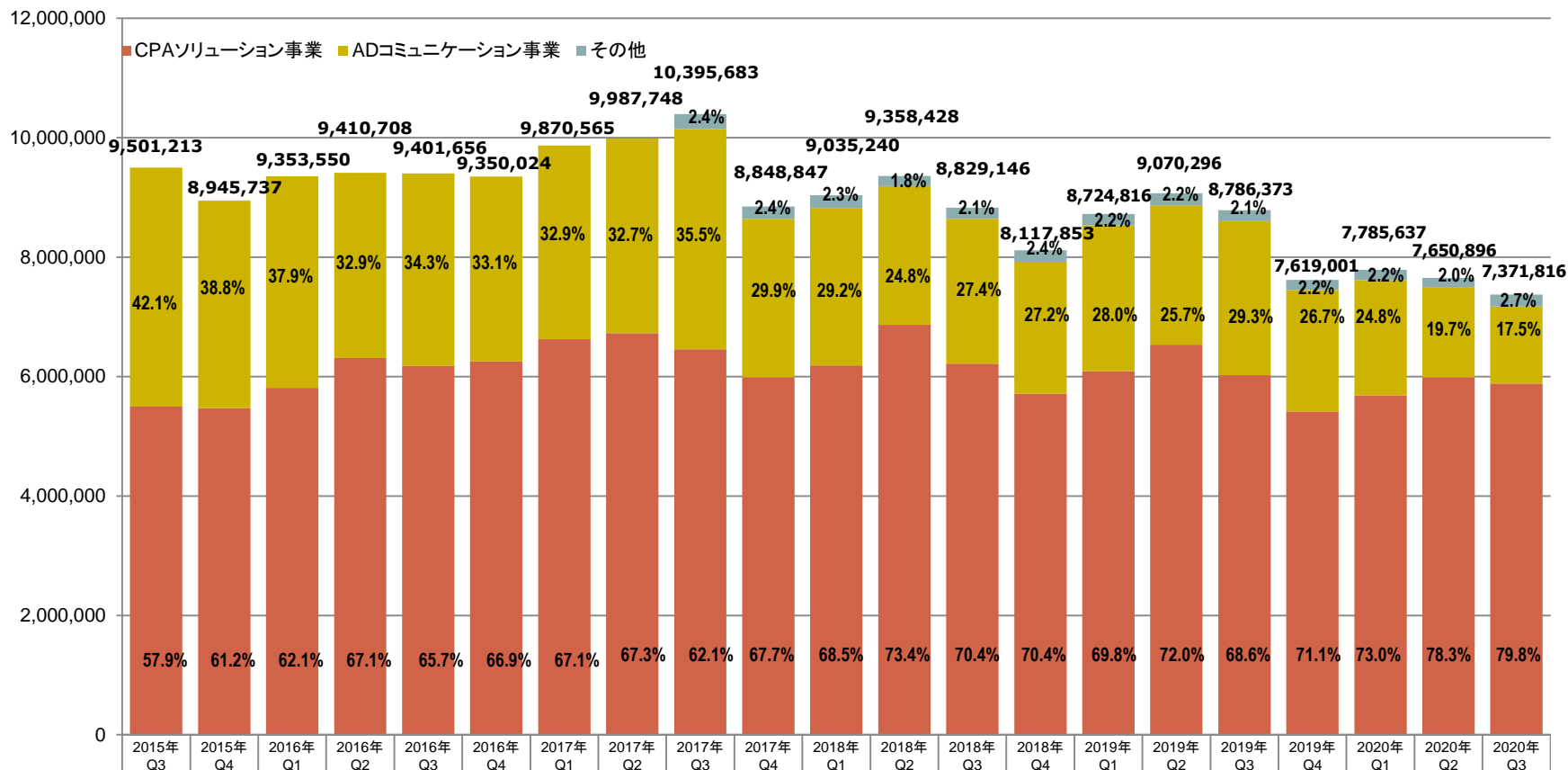
※2020年12月期より報告セグメントの名称をCPA型アドネットワーク事業から「CPAソリューション事業」、CPC/ターゲティング型アドネットワーク事業から「ADコミュニケーション事業」にそれぞれ変更しております。

報告セグメント別の売上高の推移

(連結・四半期ベース)

サービス区分別概要

単位:千円



■ その他	0	69	0	0	0	0	0	249,931	213,477	208,812	167,838	189,731	192,751	189,721	202,051	183,478	168,616	171,601	153,367	198,116	
■ ADコミュニケーション事業	4,003,412	3,471,344	3,543,810	3,096,905	3,225,143	3,097,554	3,246,442	3,262,687	3,690,576	2,645,390	2,640,933	2,322,065	2,422,282	2,209,630	2,445,395	2,334,288	2,578,017	2,034,187	1,928,510	1,509,582	1,289,240
■ CPAソリューション事業	5,497,800	5,474,323	5,809,740	6,313,802	6,176,512	6,252,470	6,624,123	6,725,060	6,455,174	5,989,980	6,185,493	6,868,524	6,217,132	5,715,472	6,089,699	6,533,957	6,024,877	5,416,197	5,685,525	5,987,947	5,884,459

「A8.net」主要サマリー

CPAソリューション事業

単位：千円	2020年 第3四半期(7~9月)	2019年 第3四半期(7~9月)	対前年同期 増減率
売上高	5,299,808	5,509,309	△3.8%
稼動広告主ID数	3,198	3,435	△6.9%
登録パートナーサイト数	2,857,670	2,669,931	7.0%

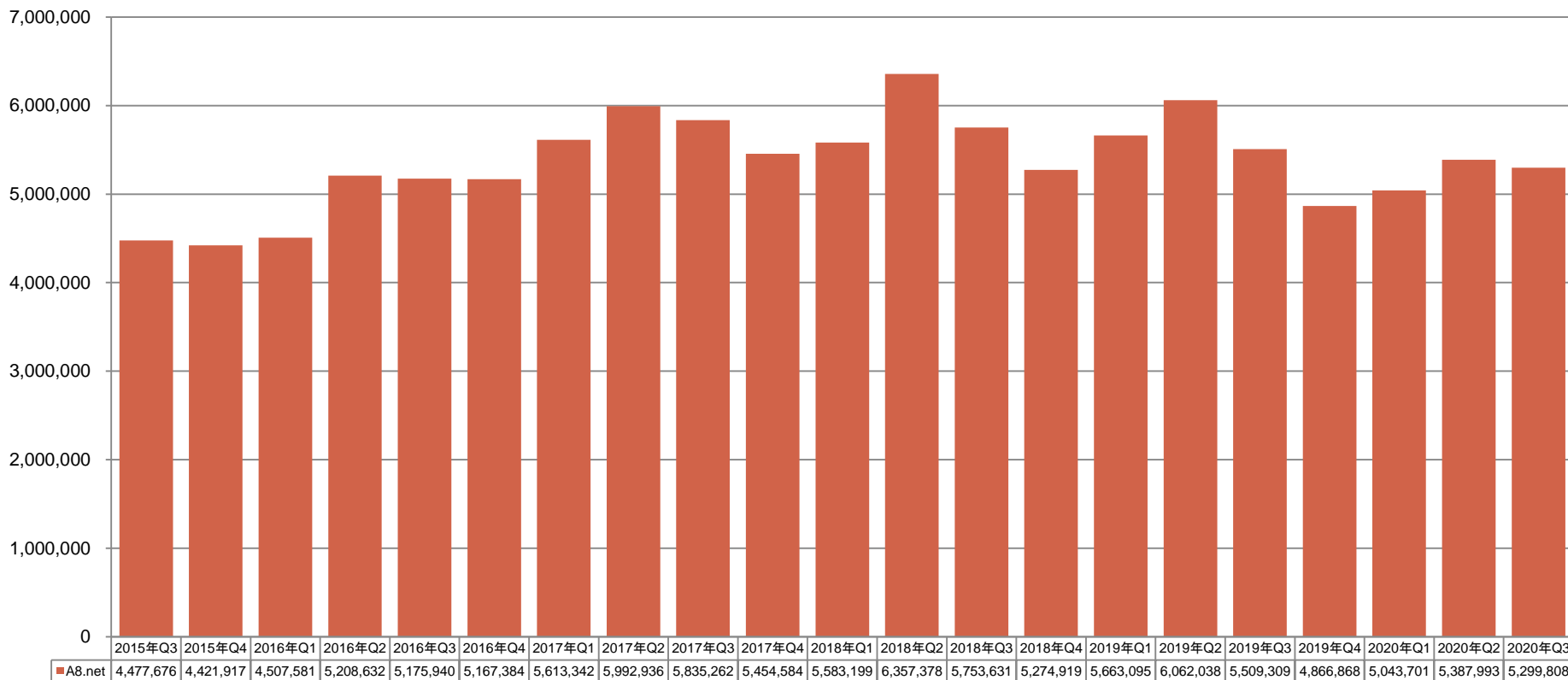
※売上高は連結間取引相殺前の数値です。
稼動広告主ID数は前年同期比較で237件減少した。

「A8.net」

売上高の推移(四半期ベース)

CPAソリューション事業

単位:千円

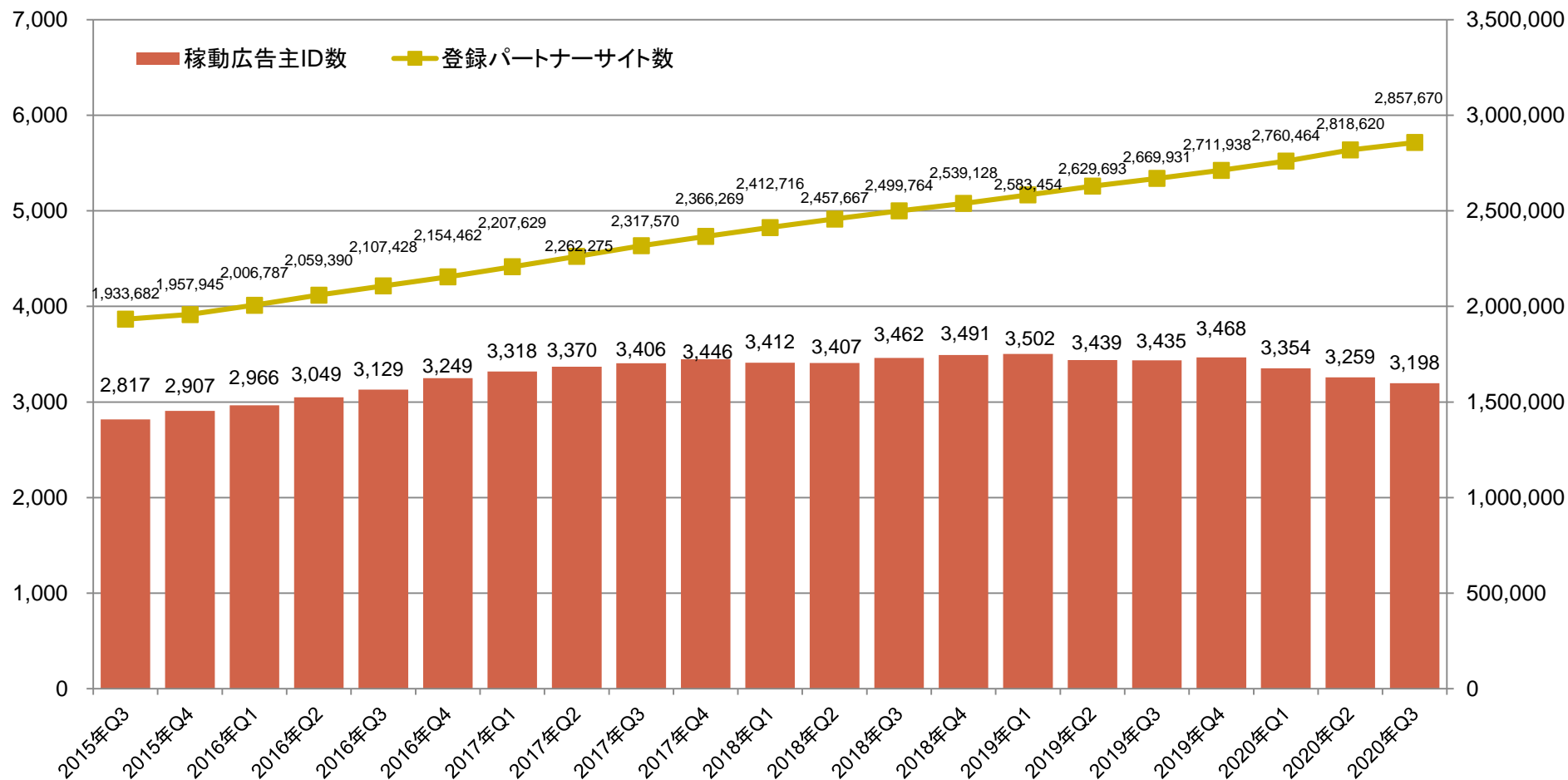


※売上高は連結間取引相殺前の数値です。

「A8.net」

CPAソリューション事業

稼働広告主数と登録パートナーサイト数の推移(四半期ベース)



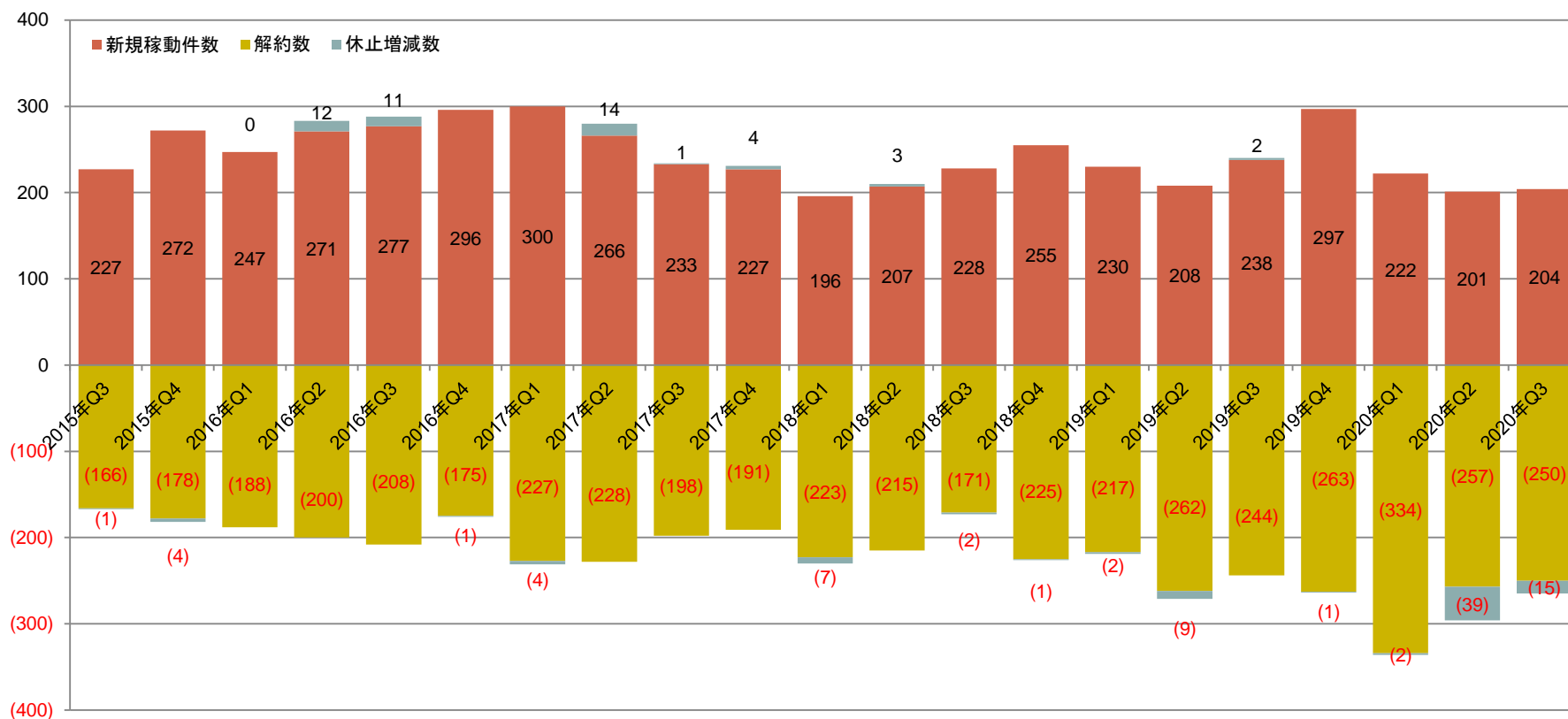
※稼働広告主数は各四半期最終月の稼働広告主数を記載しています。

稼働広告主数は直前四半期から61件減少した。海外の稼働広告主数は133件で直前四半期から35件減少。

「A8.net」

広告主の新規稼働、解約数の推移

CPAソリューション事業

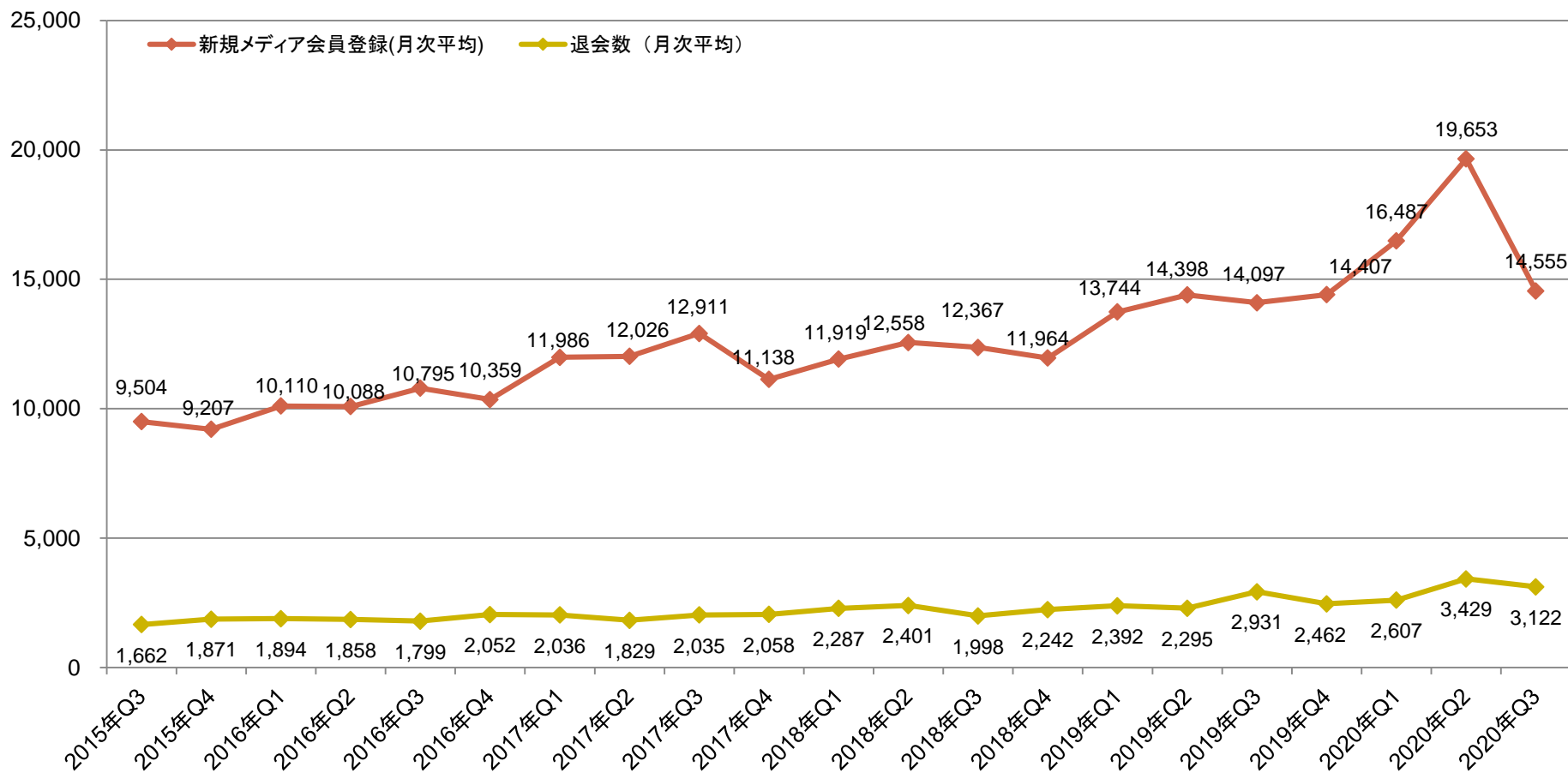


※「休止増減数」は、「稼働→休止」「休止→稼働」の差分より、「解約数」に含んでいる「休止→解約」の分を調整した数値稼働数が伸びず、事業の撤退やプロモーションの終了が多かった。

「A8.net」

新規メディア会員登録・退会の月次平均推移

CPAソリューション事業



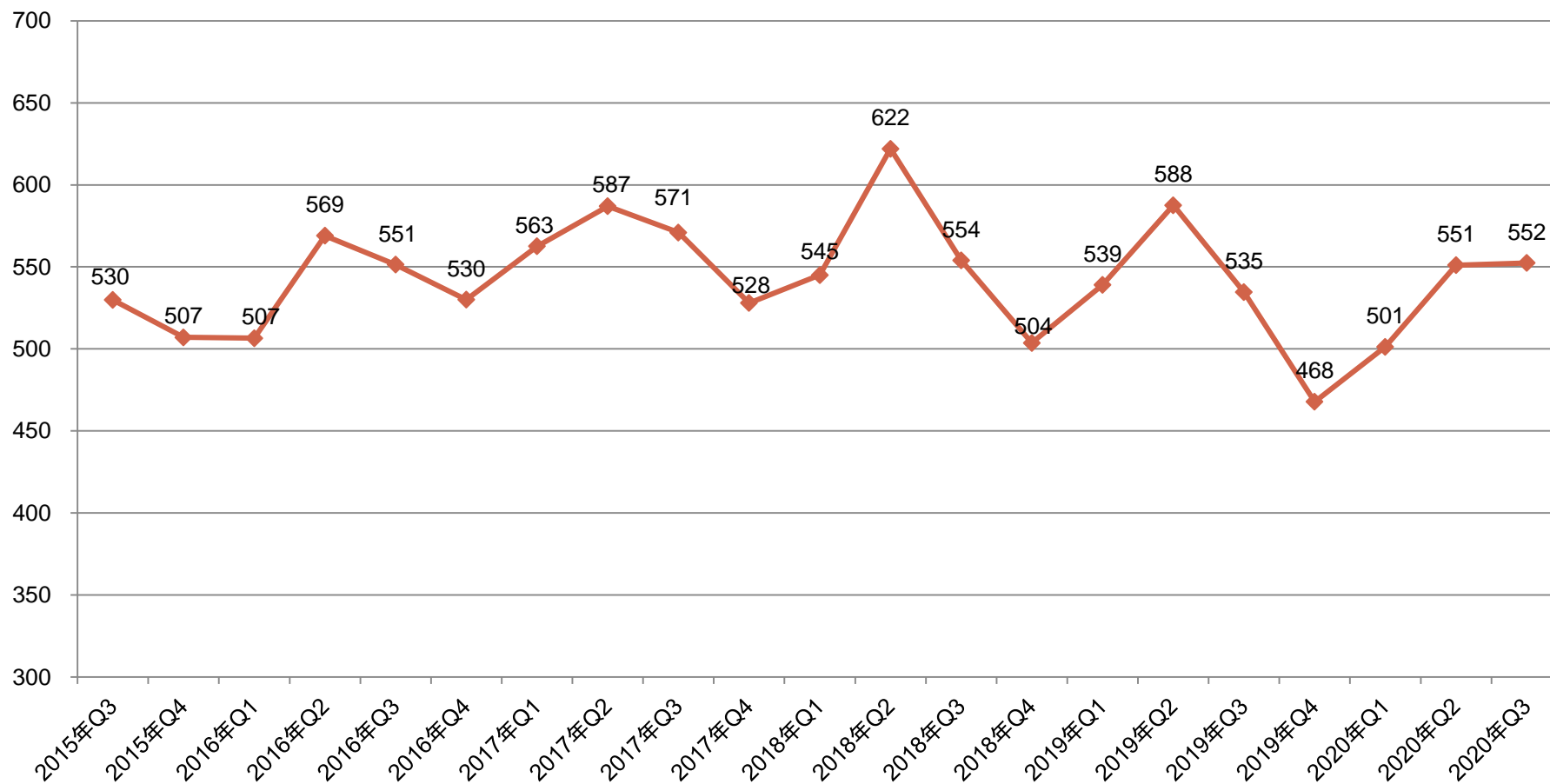
新型コロナウイルス発生以降、メディア会員の新規登録数が大きく伸びていたが、コロナ禍以前の水準に戻った。

「A8.net」

1広告主あたり月次売上高平均推移

CPAソリューション事業

単位:千円

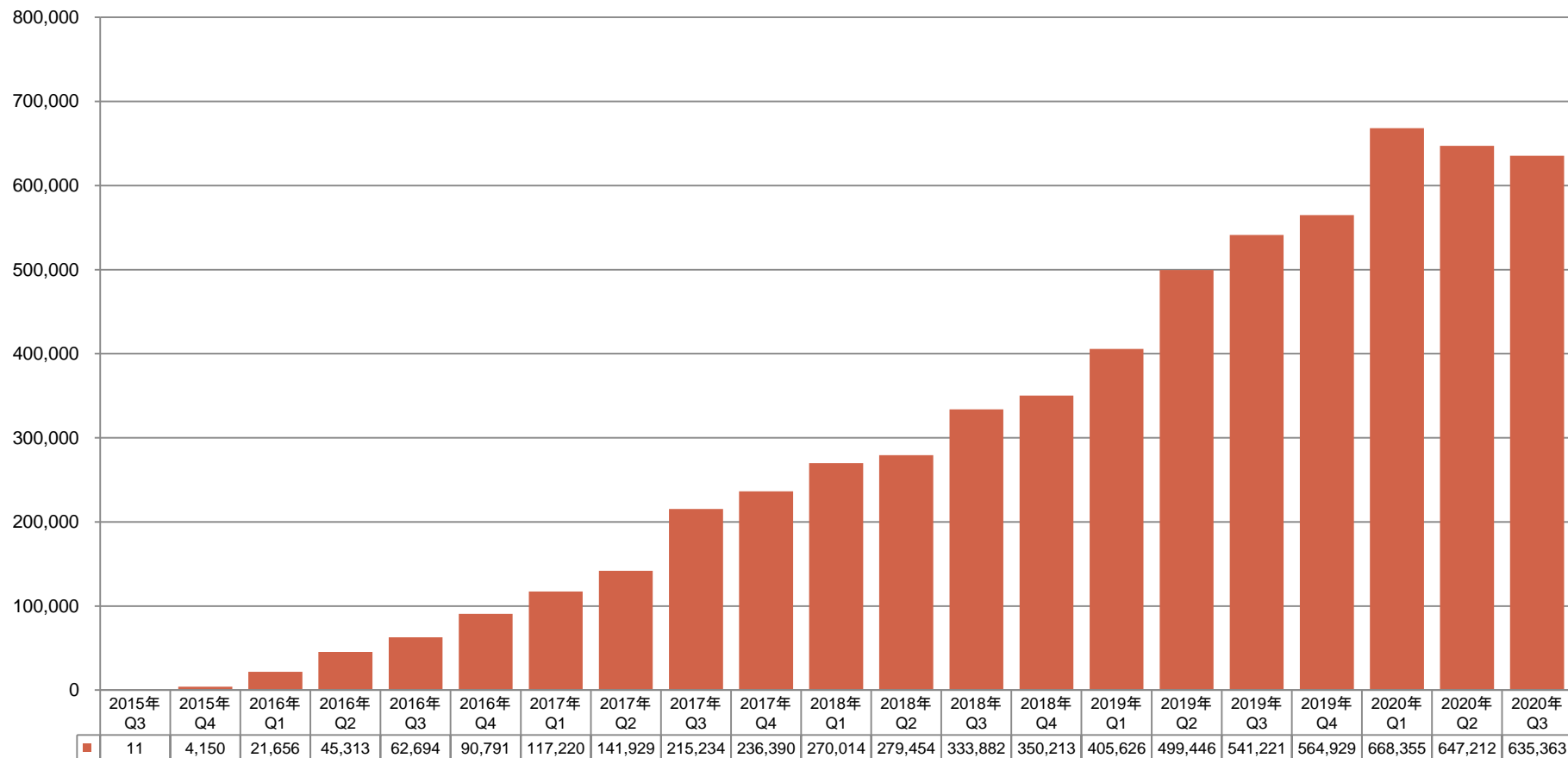


「seedApp」

売上高の推移(四半期ベース)

CPAソリューション事業

単位: 千円



※売上高は連結間取引相殺前の数値です。

「nend」主要サマリー

ADコミュニケーション事業

単位:千円	2020年 第3四半期(7~9月)	2019年 第3四半期(7~9月)	対前年同期 増減率
売上高	976,814	1,609,089	△39.3%
稼動広告主ID数	158	240	△34.2%
登録パートナーサイト枠数	1,011,971	960,110	5.4%

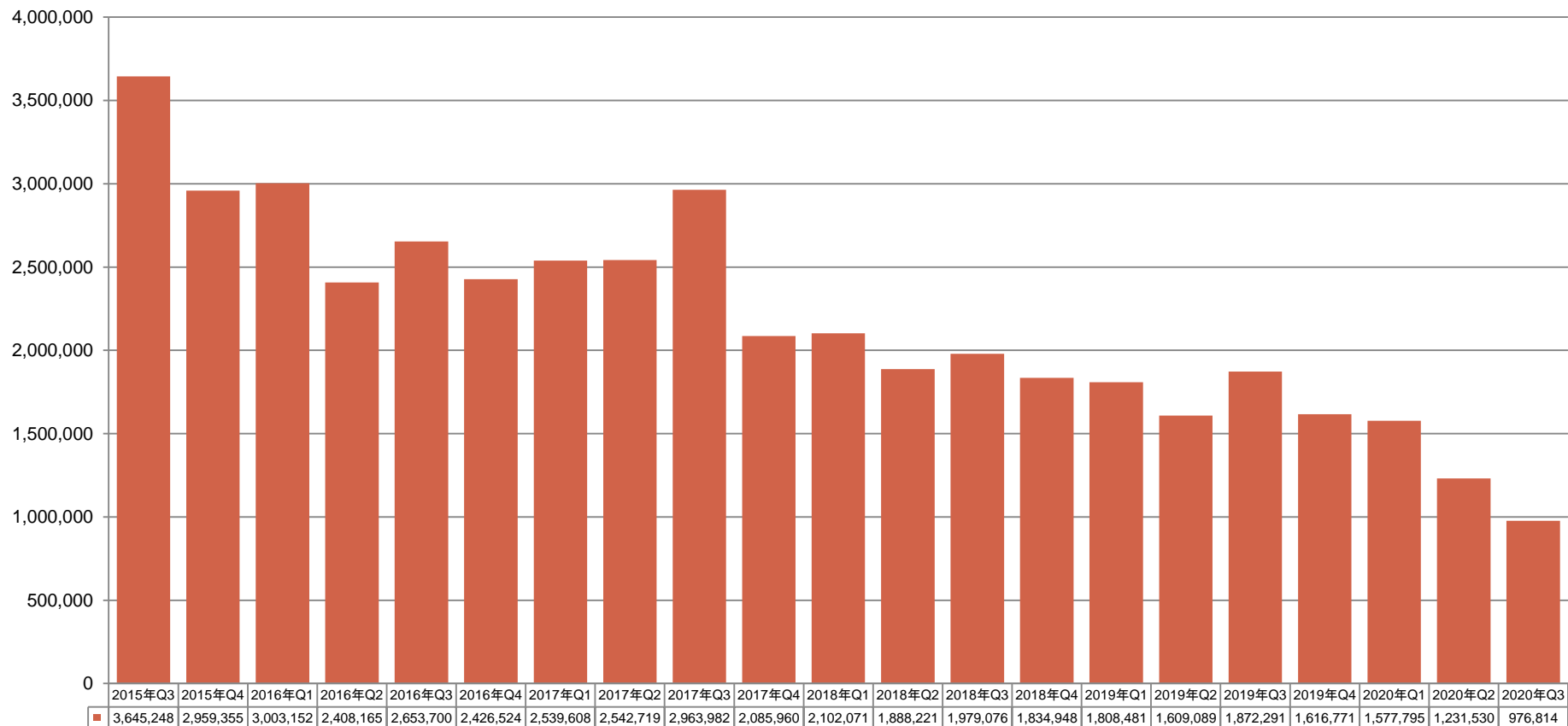
売上高は連結間取引相殺前の数値です。
 ※数値は「nend」のみのもので、他のサービスは含んでおりません。

「nend」

売上高の推移(四半期ベース)

ADコミュニケーション事業

単位: 千円



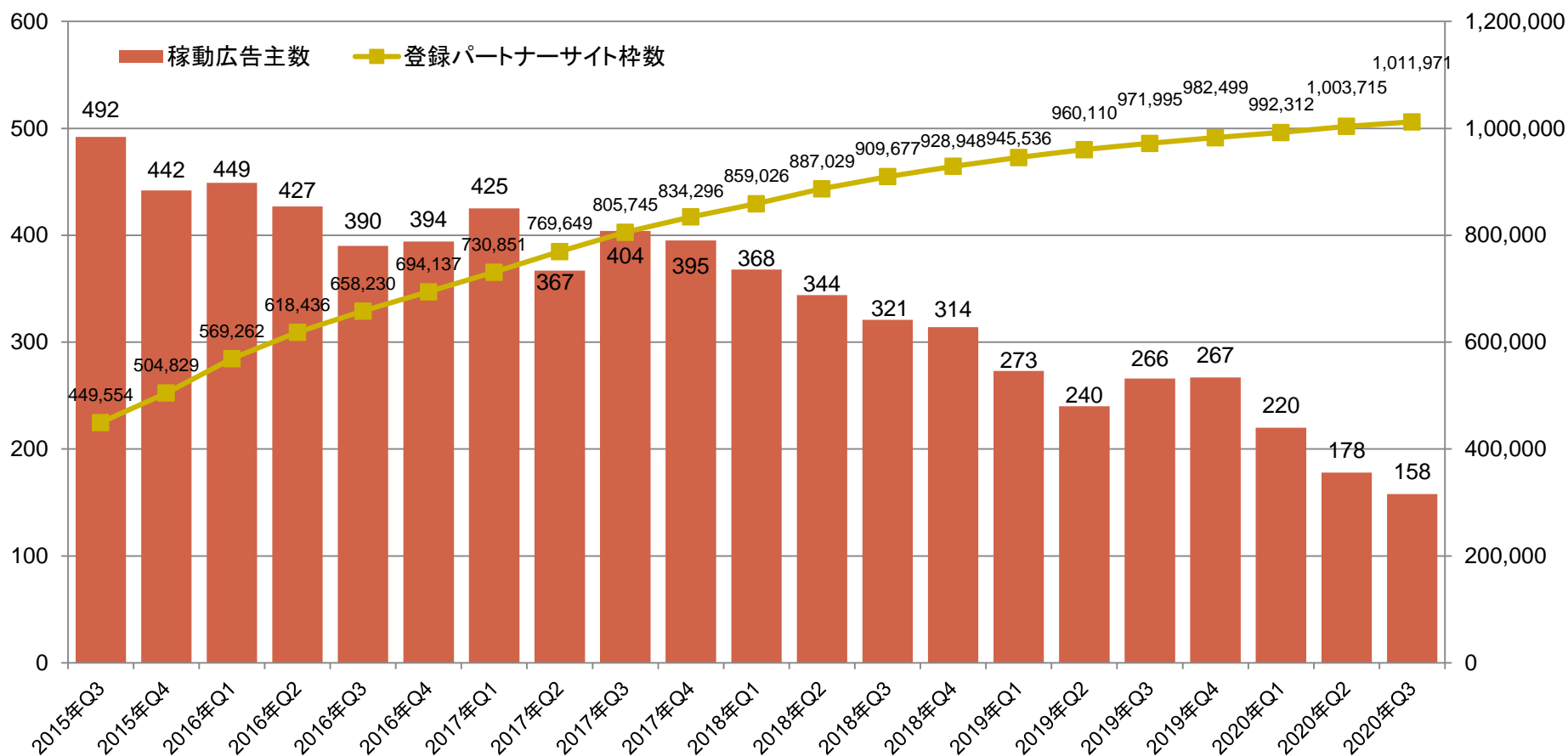
※売上高は連結間取引相殺前の数値です。

第3四半期は夏休みなどもあり、売上高が伸びるタイミングにあるにもかかわらず、大きな減収となってしまった。

「nend」

ADコミュニケーション事業

稼働広告主数と登録パートナーサイト枠数の推移(四半期ベース)



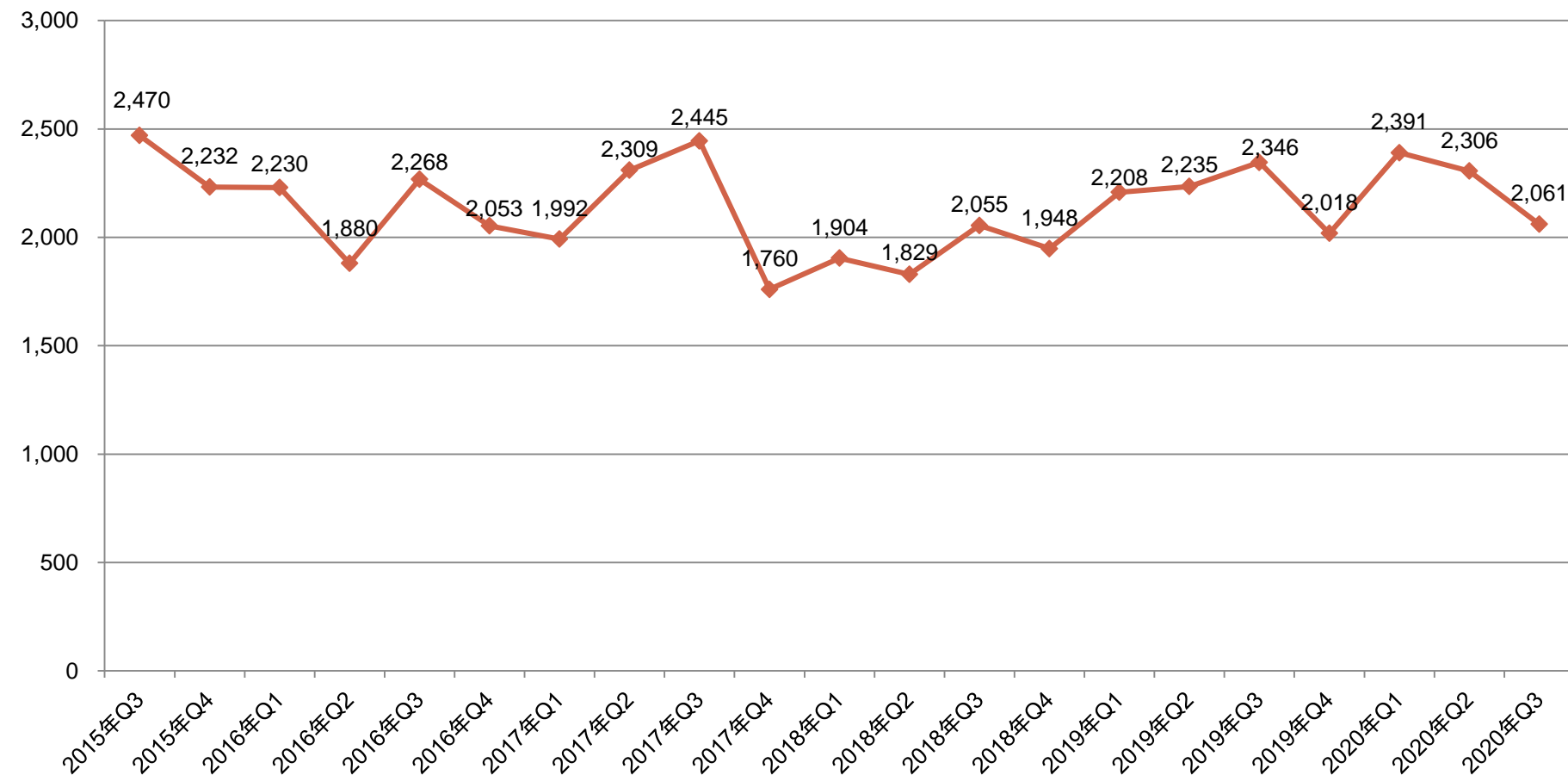
※稼働広告主数は各四半期最終月の稼働広告主数を記載しています。
稼働広告主数は直前四半期より20件減少。

「nend」

ADコミュニケーション事業

1広告主あたり月次売上高平均推移

単位:千円



業績修正の理由について

1. スマートフォン向け広告であるnendの急激な売り上げ低下

コロナ禍の「巣籠り消費」はnendの主力分野であるゲームやマンガアプリなどに活況をもたらしているが、消費者はそれらのサービスをダイレクトに指名しており、アドネットワーク経由でのダウンロード比率が落ちている。また、広告予算は大手プラットフォームやSNSに向かっており、予算獲得が難しい状況にある。

2. A8.netの新規稼働が弱く、成果の発生も減少している

コロナ禍により、全体的に広告予算が縮小に向かい、消費者の心理も節約志向になっている。一部巣籠り消費の特需はあるものの、その消費は必要不可欠なものに向かう、あるいはアマゾンや楽天、ニトリやユニクロなどを直接訪問するものであり、A8.netが主力とする中小広告主が苦戦している。またコロナ禍によりEC化のニーズは非常に高いものの、足元ではまだマーケティングに予算を振り分けられる状況ではなく、逆に消費動向の変化に対応しきれていない。

3. 当社そのもののオンライン化、テレワーク化がまだ不完全である

現在、テレワーク化によるコストの最適化を進めているが、まだ十分ではない。また、サービスや業務フローもリアル対応で組み立てられている部分が多く、早急にオンライン化を進めている。

<連結グループ事業>

株式会社ファンコミュニケーションズ・グローバル

設立：2012年3月1日
 （当社持株比率100%）

＜主な事業内容＞
 スマートフォンアプリマーケティング支援事業
 海外新規事業開発

FANCOM
 GLOBAL

※2019年10月1日付で旧株式会社アドジャポンより社名変更致しました。

単位：千円	2020年12月期 第3四半期	2019年12月期 通期
売上高	1,769,682	3,227,956
営業利益	77,944	216,272
四半期(当期)純利益	43,896	177,301

※上記金額は連結間取引相殺前の金額になります。

新型コロナウイルスの影響などにより、予算に対して低調な結果だった。

シーサー株式会社

設立：2003年10月
（当社持株比率100%）

＜主な事業内容＞

ブログシステムの開発、運営及び販売
スマートフォンアプリの企画・開発・販売
自社メディア運営

※2017年7月3日付で子会社化

Seesaa

単位：千円	2020年12月期 第3四半期	2019年12月期 通期
売上高	599,723	837,644
営業利益	△32,687	△162,424
四半期(当期)純利益	△66,610	△229,536

※2017年7月より当社連結対象となりました。

※上記金額は連結間取引相殺前の金額になります。

事業の再構築を着実に進めており、赤字幅は縮小した。

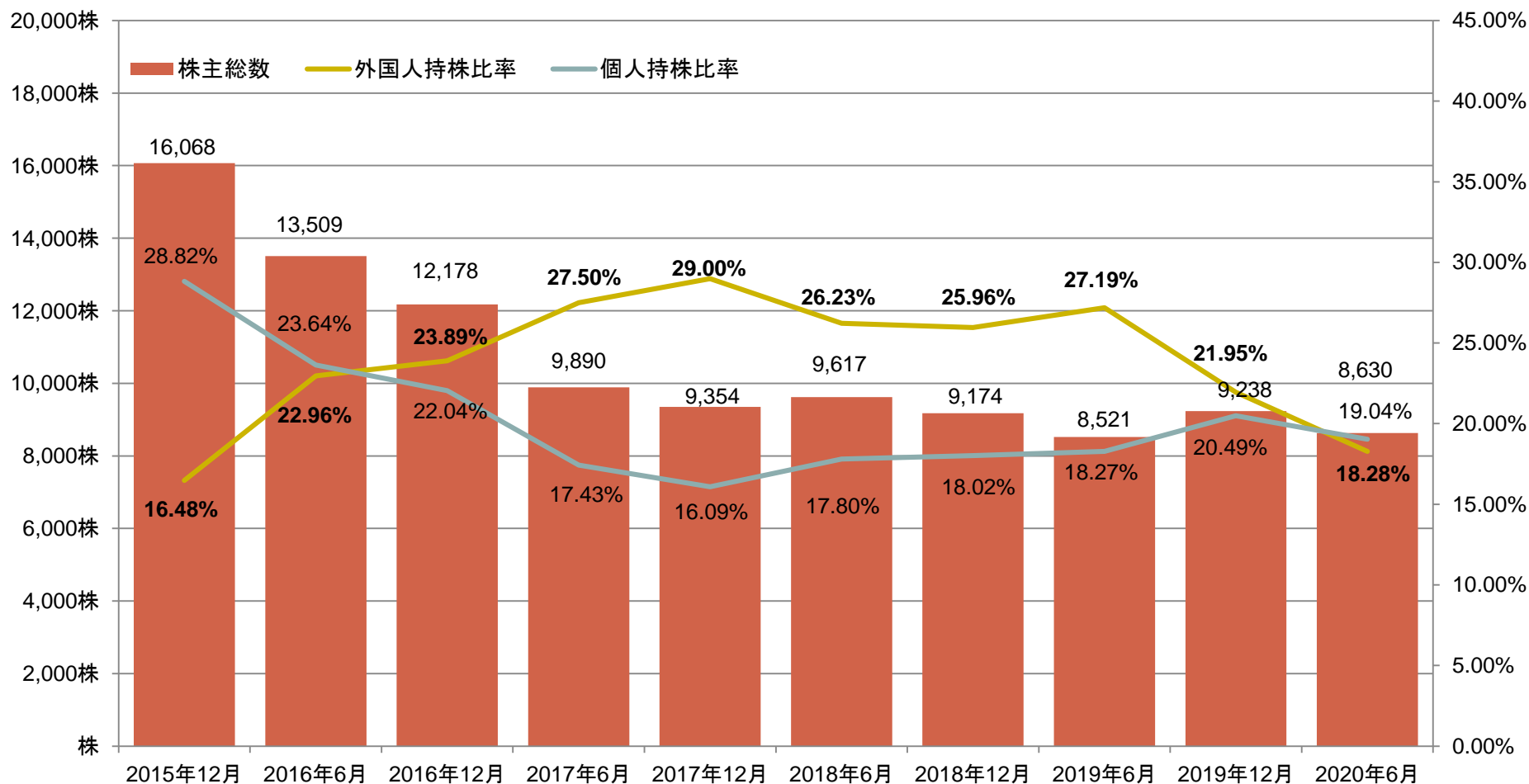


株式について

株式について

株式について

個人持株比率、外国人持株比率推移



※個人持株比率、外国人持株比率は、当社の役員・従業員の持株数を除いた数値です。

参考資料

経営ビジョン

プロシューマー・ハピネス

大量生産・大量消費の時代が生み出した市場メカニズムが終わりを迎えつつあります。生産と消費、その境界線があいまいになり、どちらの顔も持つ「プロシューマー」であふれる時代がやってくるでしょう。私たちファンコミは、そんな「プロシューマー」を支援する事業を展開し、それぞれの喜びを最大化できる企業へと、新たに進んでいきます。

アドネットワーク・プロバイダーから プロシューマー支援企業へ

※2019年10月1日より経営ビジョン・企業ロゴの変更を行いました。

(<https://www.fancomi.com/20th/prosumer.html>)

会社概要

- 会社名 株式会社ファンコミュニケーションズ
(英文表記:FAN Communications, Inc.)
- 証券コード 2461(東京証券取引所 市場第一部)
- 決算期 12月
- 設立 1999年10月1日
- 資本金 11億7,367万円(2020年9月30日現在)
- 代表取締役社長 柳澤 安慶(やなぎさわ やすよし)
- 従業員数 単体424名 (2020年9月30日現在※アルバイト・派遣社員含む)
グループ合計496名 (2020年9月30日現在※アルバイト・派遣社員含む)
- 本社所在地 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8 青山ダイヤモンドビル
- TEL 03-5766-3530(IR)
- FAX 03-5766-3782

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

記載内容については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りやデータのダウンロードなどによって生じた障害などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社ファンコミュニケーションズ

E-mail: ir-info@fanics.com